Department of Civil and Environmental Engineering

社会環境工学科

社会基盤工学や環境工学を学ぶ

社会環境工学科では、社会資本の整備や自然環境の保全に取り組む土木・環境工学（Civil and Environmental Engineering）分野の技術者の養成を目指しています。

求める学生像 Student image

学生像

01 道路、河川、港湾、鉄道、都市施設の整備・維持管理方法、地震や大雨による自然災害から市民生活を守るための対策、種々の環境問題に関心を持っている

02 広くものづくりに関心が高く、自然現象や社会現象の調査分析・実験などを通じて自然科学や社会科学の原理原則を探求したい

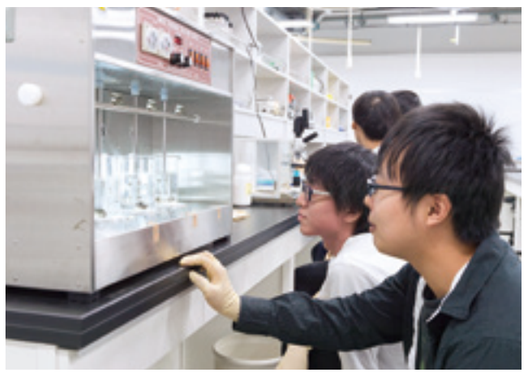
能力

数学・英語・理科・国語等、特に数学・物理の基礎的学力を評価します。

＜高等学校等での修得すべき科目＞
- 数学　数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）
- 理科　物理（物理基礎を含む）
- 英語

社会基盤工学分野

自然との共生を視野に入れた社会資本整備について学びます。



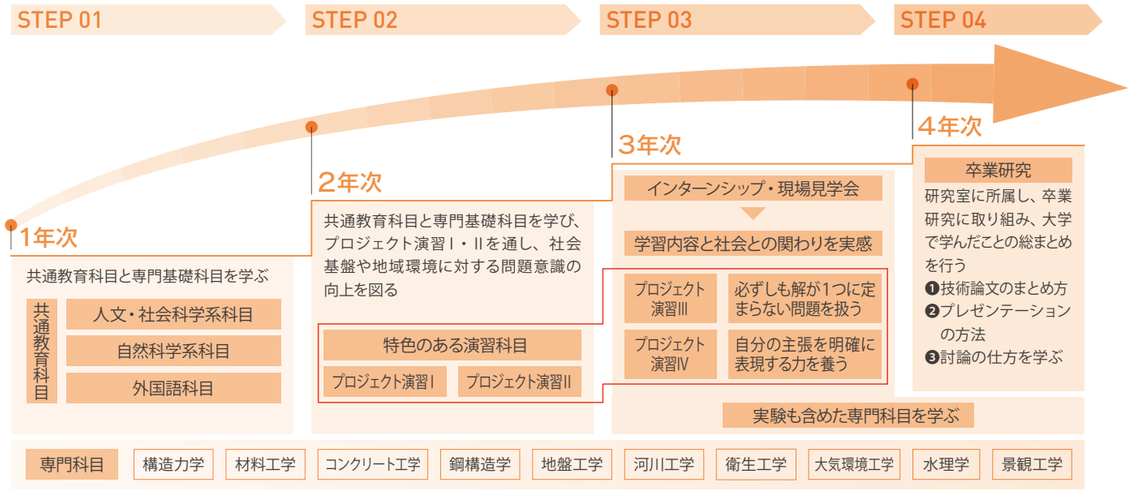
水・環境実験　水質分析に関する実験をしている様子

環境工学分野

地球環境を視野に入れた水や大気に関する地球環境整備を学びます。

水理学　建設工学の基礎である水の流れについて学習している様子

カリキュラム Curriculum



			1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育科目	専門基礎科目	必修	社会環境工学概論 構造力学Ⅰ 基礎力学演習 環境の科学	構造力学Ⅱ 測量学Ⅰ 応用数学	建設材料 構造力学Ⅲ 測量実習Ⅰ 循環システム工学 プロジェクト演習Ⅰ コンクリート工学Ⅰ	地盤工学Ⅰ 水理学 水理学演習 計画数理 工学情報処理 プロジェクト演習Ⅱ	鋼構造学 コンクリート工学Ⅱ	防災工学	
		選択	構造解析演習		測量学Ⅱ	地盤工学Ⅱ 交通計画 環境水質工学	コンクリート工学Ⅲ 地域・都市計画		
	専門科目	必修			景観原論	地盤・材料実験 プロジェクト演習Ⅲ	水・環境実験 プロジェクト演習Ⅳ	卒業研究	
		選択			水文学 景観工学 土木地質学	河川工学 観光・レクリエーション計画 測量実習Ⅱ 学外実習	構造物設計論 維持管理工学 水環境工学 建設マネジメント	構造耐震工学 色彩工学	
共通教育科目		必修	技術者倫理　線形代数Ⅰ 微分積分学Ⅰ　物理学Ⅰ 外国語は、英語4科目8単位を含む10単位以上必要			その他選択科目の単位取得が必要			

社会環境工学科は、国際的に通用する技術者の育成を目的として設立された一般社団法人日本技術者教育認定機構（JABEE）で認定された教育プログラムを実施しています。

幅広い知識を得て、得意分野をのばせる学科

在学生 Message

社会環境工学科 4年　早川　まい さん（愛知県立丹羽高等学校出身）

私は、東日本大震災の被害を目の当たりにし、なぜ構造物は壊れてしまったのか、なぜ被害が大きくなってしまったのか、と疑問に感じたのが土木の分野に興味を持ったきっかけでした。人々が安心して暮らせる街を作りたいと考え、本学科を志望しました。
土木の分野はとても幅広く、本学科では様々な分野を基礎から学ぶことができます。実習や実験では、グループで一つの課題に取り組むことが多く、知識や技術の修得はもちろん、コミュニケーション能力も身に付けることができます。整った実験設備や先生方の手厚いサポートのおかげで、充実した毎日を送っています。